

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-129662

(43)Date of publication of application : 19.05.1995

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 05-272382

(71)Applicant : SANYO ELECTRIC CO LTD
TOTTORI SANYO ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing : 29.10.1993

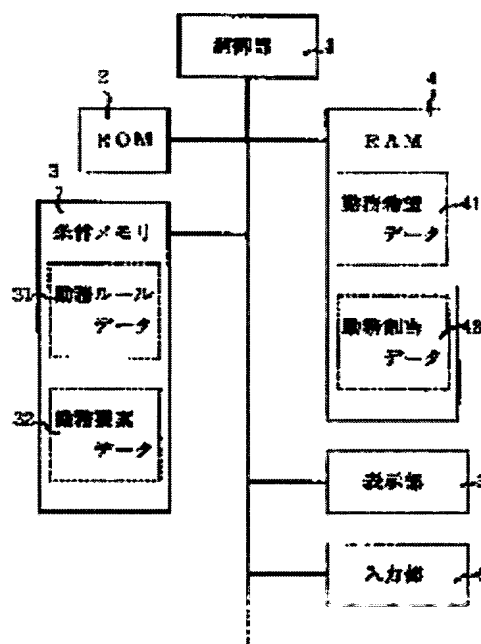
(72)Inventor : INOUE TAKESHI

(54) AUTOMATIC PREPARING DEVICE FOR SERVICE ASSIGNMENT TABLE

(57)Abstract:

PURPOSE: To automatically execute the service assignment in the form of satisfying a working person's desire by executing the service assignment of each employee in a period every unit period in accordance with each data stored in a memory.

CONSTITUTION: When service desire data of each nurse are inputted from an input part 6, the data are displayed on a screen, and also, stored as the service desire data 41 in a RAM 4. Subsequently, when desires of respective nurses are inputted from the input part 6, they are stored as the service desire data 41 in the RAM 4, and also, the service desire data are displayed on a display part 5 corresponding to a date. When the input of the service desire data is finished, a control part 1 prepares service assignment data 42 of an amt. of one month and stores it in the RAM 4 based on the service desire data. service rule data 31 in a condition memory 3 and service element data 32, and also, display the service assignment data of an amt. of one month.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-129662

(43) 公開日 平成7年(1995)5月19日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60		8724-5L	G 0 6 F 15/ 21	L

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-272382

(22) 出願日 平成5年(1993)10月29日

(71) 出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(71) 出願人 000214892

鳥取三洋電機株式会社

鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地

(72) 発明者 井上 武志

鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取

三洋電機株式会社内

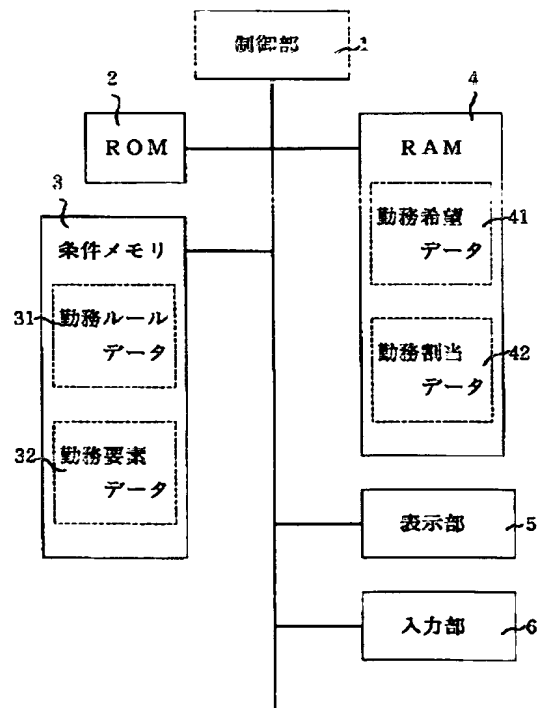
(74) 代理人 弁理士 安富 耕二 (外1名)

(54) 【発明の名称】 勤務割当表自動作成装置

(57) 【要約】

【目的】 本発明は複数の勤務形態が存在する職種や各従業員の勤務割当を各従業員の希望にそった形で作成できる装置を提供する。

【構成】 入力部(6)より入力されRAM(4)中に格納された勤務希望データ(41)、勤務ルールデータ(31)、勤務要素データ(32)に基づいて勤務割当データ(42)を作成し表示部(5)に表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の勤務形態を有する職業に従事する複数の従業員に対して一定期間内の各従業員の勤務条件を平準化するための装置であって、上記期間内の各従業員の勤務希望を予め入力する手段と、該入力手段より入力された勤務希望データを格納する勤務希望メモリと、上記勤務形態毎の勤務ルールを示すデータ及び上記期間を所定単位毎に細分化してなる単位期間内の必要従業員数等の勤務要素データが格納されている条件メモリと、上記各メモリに格納された各データに従って上記期間内における各従業員毎の勤務の割当を上記単位期間毎に行なう割付手段と、該割付手段による割当結果を表示する手段とを備えたことを特徴とする勤務割当表自動作成装置。

【請求項 2】 請求項 1 において、更に上記割付手段からの割付結果と上記勤務希望メモリ中の勤務希望データとを比較する手段とを備え、該比較手段の比較の結果上記割付結果と上記勤務希望データとが異なる場合上記表示手段における上記異なった割付結果をその他の結果と異なる形態で表示することを特徴とする勤務割当表自動作成装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、日勤、深夜勤、準夜勤、休日等の複数の勤務形態を交替で行なう必要がある例えば看護婦等の勤務割当表を自動的に作成する装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 勤務割当表を自動的に作成する装置としては、例えば特開平 2-310769 号公報等で提案されている。

【0003】 上記提案は負荷バランスを運行する運転手の割付けを各運転手の過去の残業時間等の実績および休暇等の予定に基づいて残業時間の平準化を行なうように自動的に 1 ケ月分の勤務割当表を作成するものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上述の運転手の割付の場合、各日の勤務割は単純に勤務又は休日の二者択一で良い。

【0005】 然るに、例えば看護婦の勤務形態のように 1 日の勤務形態として日勤、深夜勤、準夜勤というように複数存在し、かつ、各勤務形態には各看護婦の健康管理面から種々の制約がある。例えば、深夜勤の次の日は日勤を禁止するという制約等である。

【0006】 このように 1 日の勤務形態が多様な職種に対しては上記公報に記載の方法を適用することはできない。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明はこのような課題に鑑みてなされたもので、その特徴は、複数の勤務形態

を有する職業に従事する複数の従業員に対して一定期間内の各従業員の勤務条件を平準化するための装置であって、上記期間内の各従業員の勤務希望を予め入力する手段と、該入力手段より入力された勤務希望データを格納する勤務希望メモリと、上記勤務形態毎の勤務ルールを示すデータ及び上記期間を所定単位毎に細分化してなる単位期間内の必要従業員数等の勤務要素データが格納されている条件メモリと、上記各メモリに格納された各データに従って上記期間内における各従業員毎の勤務の割当を上記単位期間毎に行なう割付手段と、該割付手段による割当結果を表示する手段とを備えたことにある。

【0008】 また他の特徴は、更に上記割付手段からの割付結果と上記勤務希望メモリ中の勤務希望データとを比較する手段とを備え、該比較手段の比較の結果上記割付結果と上記勤務希望データとが異なる場合上記表示手段における上記異なった割付結果をその他の結果と異なる形態で表示することにある。

【0009】

【作用】 斯る構成によれば、1 日の勤務形態が多様な職種においてもその勤務者の希望にそった形で自動的に勤務割当が行なえる。また、勤務者の希望と異なる勤務形態を取らざるを得ない場合、その旨を明確に表示できる。

【0010】

【実施例】 図 1 は本発明を看護婦の勤務割当に適用した場合の実施例を示すブロック図であり、図中 (1) は例えばマイクロコンピュータからなる制御部、(2) は制御プログラムが予め格納されたリードオンリメモリ (ROM) であり、上記制御部 (1) は ROM (2) 中の制御プログラムに基づいて以下で説明する各部の制御を司る。

【0011】 (3) は条件メモリであり、該条件メモリには勤務ルールデータ (31) 及び勤務要素データ (32) が格納されている。

【0012】 具体的な勤務ルールは以下の 7 点である。

【0013】 ルール 1 : 準夜勤の次の日に日勤又は深夜勤は禁止する。

【0014】 ルール 2 : 深夜勤の次の日に日勤は禁止する。

【0015】 ルール 3 : 2 日連続の深夜勤又は準夜勤は禁止する。

【0016】 ルール 4 : 5 日連続の勤務は禁止する。

【0017】 ルール 5 : 深夜勤、準夜勤、日勤の人数不足は禁止する。

【0018】 ルール 6 : 1 ケ月間の休日及び夜勤数を均一化する。

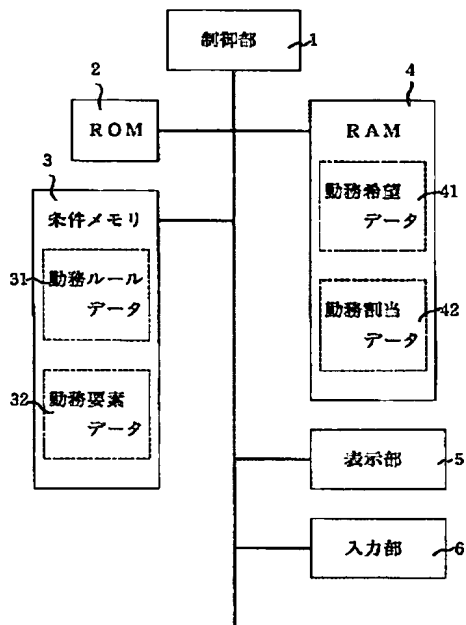
【0019】 ルール 7 : 日勤、日勤、深夜勤、準夜勤、休日の繰返しを基本とする。

【0020】 また、要素データは、1 日の各勤務形態毎の必要最低人員数を示すもので、具体的には日勤の人数

- 1 制御部
- 3 条件メモリ
- 4 RAM
- 5 表示部
- 6 入力部
- 41 勤務希望データ

氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A B C D E F G H			深井田	H	深野		休		

【図1】



【図3】

氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
A	準	休	日	日	日	準	休	日	深	休	日	日	準	休	休	休	日	日	深	準	休	日	日	休	日	深	準	休	日	日
B	休	日	日	日	深	休	日	日	休	深	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	深	日	日	休	日	準	休	日	日	日
C	日	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	日	休	日	休	日	日	準	休	日	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
D	日	日	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	日	休	日	日	準	休	日	日	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
E	日	日	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	日	休	日	日	準	休	日	日	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
F	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
G	深	休	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
H	休	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日

【図4】

氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
A	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	休	日	日	深	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日
B	休	日	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
C	日	日	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
D	日	日	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
E	休	日	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
F	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
G	深	休	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日
H	休	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	準	休	日	日	日	日

【表5】

氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
A	準	休	日	日	日	準	日	日	深	休	日	日	準	休	休	日	日	深	準	休	日	日	休	日	日	深	準	休	日	日	
B	休	日	日	準	深	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	準	深	休	日	日	日	
C	日	休	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	準	深	休	日	日	日	
D	日	休	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	準	深	休	日	日	日	
E	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	準	深	休	日	日	日	
F	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	準	深	休	日	日	
G	深	休	日	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	準	深	休	日	日	
H	休	準	休	休	日	日	準	休	日	日	準	休	日	日	準	休	休	日	日	準	休	日	日	休	日	日	準	深	休	日	日